



ふれあい

子どもたちは“かどがわ 4 か条” 頑張っていますか！

はじめに、ふれあい9月号の発行ができなかったこととお詫び申し上げます。

さて、今回は4月に実施された「全国学力・学習状況調査」の中から、「児童生徒の意識調査」結果を一部取り上げてお知らせしたいと思います。特に、門川町PTAが取り組んでいる「子どもの成長を支え育む“かどがわ 4 か条”」に関連した項目の26年度からの変化状況と、今年の門川の子どもたちと宮崎県、全国の子どもたちとの状況を見比べ、門川町の子どもたちの頑張り度を確認して今後の子育て・見守りに役立てていただくとありがたいです。

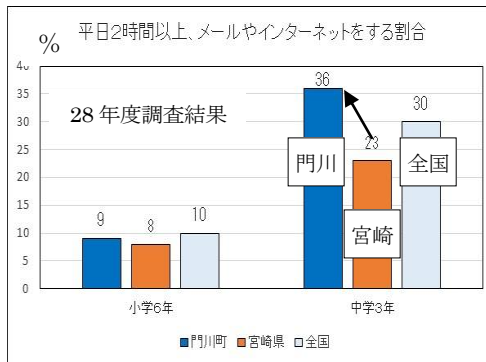
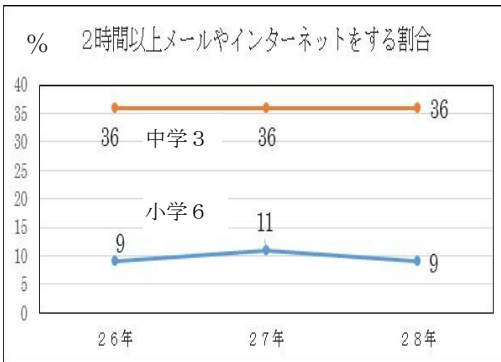


“かどがわ4か条”の再確認をしていきましょう！



第1条 家庭でメディアの約束を作ります！

携帯電話・スマホ使用のルールづくりを！

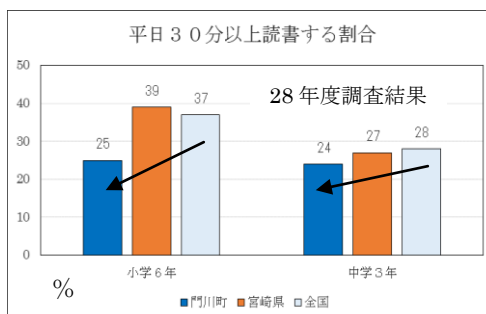
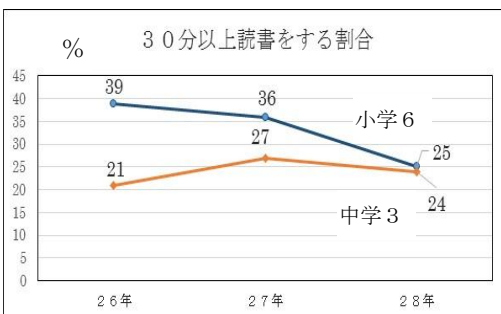


28年度の使用割合は小学6年では県や全国とほぼ同じですが、中学3年になると県や全国と比べて多くなっています。この傾向は昨年と同じ状況です。携帯やスマホの長時間使用は学力低下の大きな原因となっています。

26年度～28年度の平日2時間以上使用する状況を見ると、門川町の小学6年が10%前後、中学3年が36%と、ほぼ同じ割合で推移しています。28年度調査からは、中学3年は1時間以上となると52%、30分以上になると実に74%の生徒が使用している結果が出ています。ルールの再確認をしてみましょう。

第2条 読書を家族みんなで楽しみます！

読書量が減ってきています！

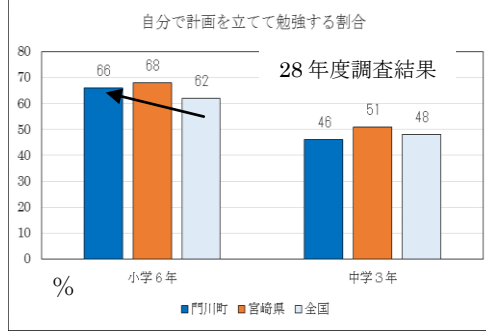
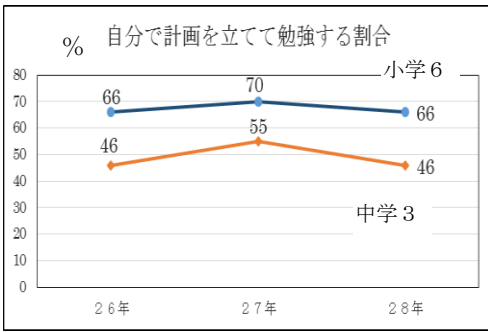


平日30分以上読書する割合は小6・中3とも残念ながら県や全国平均より低くなっています。特に小学6年は10分以上読書する割合でも半数であり、全国より10ポイント以上の差が見られます。

26～28年度の読書状況を見ると、中学3年はほぼ横ばい状態ですが、小学6年の減少傾向が加速しています。1日あたり「10分より少ない」か「全く読まない」割合は半数に上ります。また、中学3年でも約半数が「全く読まない」と答えています。読書離れが進んでいるのは全国的な傾向ではありますが、それ以上に多いことに危機感を覚えます。日々の読書は少しずつ力を蓄え、目に見えない大きな力となっていきます。わが家でも、手元に本を置きましょう。率先垂範ですね。環境づくりですね。

第3条 学習をしている子どもを応援します！

計画立てて勉強する割合が下がっています



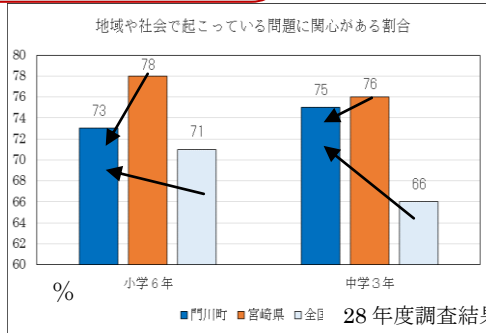
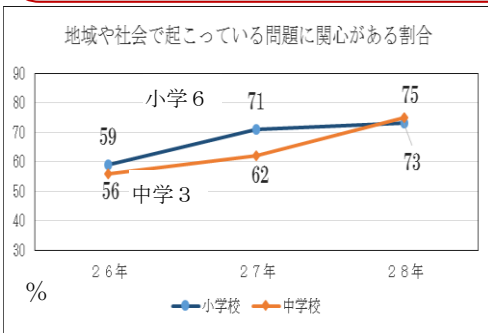
自分で計画を立てて勉強する割合は小学6年では全国平均を上回っていますが、中学3年ではやや下回っており、小・中とも県平均より低くなっています。



27年度は、計画を立てて勉強する割合が小・中とも26年度から増えていましたが、28年度は小・中とも26年度の状態に戻っています。全国や県平均との比較でも27年度はどちらも上回っており、自分で計画を立てて勉強する割合が高かったのですが、28年度は上図(棒グラフ)のような結果でした。昨年の「ふれあい」10月号と同様の分析記事としていますので比較していただくと分かり易いと思いますが、計画性のある場合とそうでない場合とでは約15%の学力差が出ているようです。簡単ではないですが、進路選択を間近に控えた中学生には目標達成に向けて計画的に勉強する姿勢とやる気を示すよう励ましましょう。

第4条 我が町の行事に進んで参加させます！

地域や社会問題に関心があります！



社会問題に関心がある割合は全国と比較すると中3では大きく上回っていますが、県と比べるとやや低く、小学6では全国より高いが、県との差は5ポイント開いています。

26～28年度の関心がある割合は、年度を追うごとに右肩上がりになっています。特に中学3の増加率が高く、社会問題への関心が高まってきていることがわかります。18歳から選挙権が認められるようになりましたが、社会問題に関心が高まることはよいことであり、また必要なことです。反面、他のデータからみると、地域の行事への参加は26年度から年々減少傾向にあり、中学3では10ポイント以上減少しています。地域や社会で起こっている問題には関心が高いので、ご家庭での一言や家族での行動を工夫していただき、地域行事への参加を少しでも増やしていきましょう。まず、親が手本です！



保護者・地域のみなさまへ

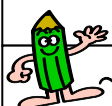
教育研究所からのメッセージ

冒頭にも書きましたが、「ふれあい9月号」を発行できませんでした。再度お詫びいたします。今回は4月に実施された全国学力・学習状況調査から「かどがわ4か条」に関連した項目を取り上げましたが、年度ごとの推移をみていくと、門川の子どものよさはもちろんですが、課題も見えてきます。学校・家庭・地域がひとつになり、子どもたちの成長を支え育んでいきましょう。

子どもの教育や子育てで、悩んでいませんか？

困った時には、教育相談室に気軽に電話をしてください。

相談電話（門川町教育相談室）
TEL・FAX 63-1566



（教育研究所便り「ふれあい」へのご意見やご感想をお聞かせください。）